

先進校視察をして...

6月27日(火)に、東京都荒川区の汐入小学校と第三中学校に先進校視察に行ってきました。

今回の先進校視察は、リーディングDXスクール事業の中で行っているもので、旅費も国が持ってくれています。7月末頃には、現教部から大阪である勉強会に参加してもらいます。中学校の先生とも一緒なので、いろいろお話していただくと...と思いますが、日帰りなのであまりゆっくりはできないかもしれません。他の学校の取組から、いろいろと学んで、広めてもらえるとうれしいです。

さて、今回の視察で思ったことは、荒川区は教育予算にかなりの額を使っていてうらやましく思いました。各学校に、校長裁量で自由に使える予算がかなり配当されているようです。また、端末も、平成26年度から一人一台になるように整備をしていたので、GIGAスクール構想が打ち出された時には、もう完了して、使っていたようです。高松市より、5年早いスパンで取り組んでいることになります。

汐入小学校では、総合的な学習の時間に、プログラミングの時間が設定されていて、3人にひとつのレゴブロック教材を使ってつくったものを動かそうとしていました。4年生の様子を見ましたが、先生が何も言わなくても、どんどん操作していました。アプリもそうですが、ICTに係る教材等も、先ほどの学校裁量予算で購入していました。ただ、毎年先生方の入れ替わりがあり、得意でない先生もいますが、その先生方が使えるように、どの教科でも使うようにしているそうです。

また、第三中学校では、どの家庭にも Wi-Fi やパソコンがあるので、持ち帰りをしなくても利用できているそうです。(Google Classroom で、学校と同じことが家庭でもできるため)高松市では Teams を利用していますが、学校がGIGA端末でないと使えないようにしているので、持ち帰りは必須となります。

夏休みの課題については、本校のように市販のワークを利用することはしているようです。ただ、端末を持ち帰らなくても家のパソコン等でできるので、端末があることでできるようなことにも取り組ませるそうです。写真を撮ったり、自由研究をまとめたり、キーボード練習をしたりと、いろいろなことができると思いますが、夏休みに持ち帰らせるということは、事前に練習をしておく必要があるのと、壊れたときにどうするのか、保護者への説明等しておく必要があります。9月から行うと言っていることもありますので、どうしてもやってみたいという学年は、相談ください。何かいい手を一緒に考えましょう。

授業の中でやっていることは、本校とあまり変わらないと感じましたが、全教科でやっていることや、課題等も端末を通して出すことに(もらうことに)全く抵抗が無かったです。(特に中学校)本市では、アプリも教材もほとんどありませんが、今ある中でやっていくしかありません。汐入小学校でも失敗をしながら、めげずに取り組んでいったそうです。Try&error でやっていくしかありませんが、本年度、先生方が前向きにチャレンジしてくれることを、改めてお願いするとともに、下小の先生方と子どもたちなら大丈夫だと思えた視察となりました。

残り9か月、どうぞよろしくお願ひします。(いただいた資料は、別途回覧しています。ご覧ください。)

文責:校長 北村

◎ 荒川区立汐入小学校



【汐入小学校の外観】



【脱靴場にある案内板】



【出欠連絡システム】



【1年生「外国語」音楽をPCから】



【4年総合プログラミング:3人1グループ】



【4年図工:図工専科による粘土教材】



【6年理科「体のつくりとはたらき」】



【6年総合「環境」】

◎ 荒川区立第三中学校



【第三中学校の外観】



【給食:すべての小中学校が自校給食】



【1年理科「メダカの反応？」】



【3年理科「酸性とアルカリ性？」】